



母:勢都子さん 加藤 愛子さん

西部小5年。祭り囃子のない町内会の子どもに参加してもらおう山車連携に応募。新紺屋町の山車に初参加。



ダンス指導者: MALさん 深澤 周太郎さん

城山小4年。「上州タカサキオンド」の振り付けを担当したダンス教室の生徒。当日もてなし広場で踊る。



母:未賀子さん 吉田 伊琉愛さん

堤ヶ岡小4年。友心会に所属。親の担ぐ姿に憧れ、小学1年から参加。子どもみこしを担ぐ。



富岡 賢治市長

祭り囃子が聞こえるとワクワクする。学生やボランティアの活躍で祭りが会場がクリーンなことが自慢。



佐々木 菜和さん 母:真弓さん

桜山小6年。第42回高崎まつりワッペンデザインの作者。毎年、花火観賞に来ている。好きな科目は美術。



土屋 太耀さん 母:美絵さん

南小6年。八島町の山車に参加。祭り囃子(太鼓)を担当。抱負は小学生最後の祭りを盛り上げ、楽しむこと。

市長対談



未来を担う子どもたちに聞く

わたしたちの高崎まつり

子どもも大人も心が躍る夏祭り。市内でも地域色豊かな祭りが催されます。今回は高崎まつりに参加する子どもたちに登場してもらい「祭り」への思いを聞きます。

山車祭りに参加したい！子どもたちの楽しみ

市長 今日高崎まつりに参加する皆さんが集まってもらいました。皆さんが祭りにどう感じているのか、お話を聞きたいと思っただけです。まず、山車に参加する土屋太耀君に聞こうか。何の役をやっているのかな。
土屋太耀 太鼓です。
市長 お祭りにはいつから参加しているんですか？
太耀 今は6年生で、幼稚園からやっています。お父さんが八島町の山車に参加していたので。
市長 夏休みに入ると毎日練習でしょう。お母さんはお付き合いですか？
太耀 母 はい。子どもたちが楽しくやっているので親と

しても協力したいです。市長 私が子どもたちには町内に山車がなかったからうらやましい。夕暮れ時にまちを歩いていると祭り囃子が聞こえてきます。子どもたちが一生懸命笛や太鼓の練習をしているんです。それを見ているとうれしくなります。太耀 母 私は県外出身なのですが、高崎のような大きな山車は無かったです。でも高崎山車まつりでは地区ごとの山車が一年交代で出場するので、出られない年はちょっと寂しいですね。
市長 太耀くんはどう？
太耀 皆で盛り上がられて楽しいので毎年やりたいです。
市長 町内に子どもが少なくても集めるのが大変という話も耳にしますが。加藤愛子ちゃんには町内には山車が無いけ

ど、高崎山車まつりに今年初めて参加するんだね。どこの町の山車に参加するのかな。加藤愛子 はい。新紺屋町に。参加できてうれしいです。市長 どうして参加しようと思ったのかな。
愛子 他の地域の友達やいとこがお祭りに出ているので私も出てみたいと思いました。
市長 お母さんは愛子ちゃんから聞いてどう思いました？
愛子 母 学校からの山車の参加者募集のお知らせを見て応募したんですが、親としても応援したい気持ちになりました。いつも見る側だったので参加したい気持ちが強かったんだね。
市長 二日間頑張れるかな？
愛子 はい。大丈夫です。
市長 暑いから熱中症には気を付けてね。

カッコーさへの憧れ 伝統に加わる新しいもの

市長 吉田伊琉愛ちゃんはおみこしに参加するのかな。
吉田伊琉愛 はい。子どもみこしに。
市長 自分からおみこし担ぎたいと思ったの？
伊琉愛 はい。お父さんとお母さんがおみこしを担いでいるところとか、掛け声とかがカッコいいと思って。
伊琉愛 母 高崎まつりや吉井の祭り：私があちこちに連れて行くものだから。地元の高地区のおみこしにも参加しています。
市長 子ども時代の良い思い出です。記憶に残りますよね。練習はしているのかな？
伊琉愛 慣れているからしていません。
伊琉愛 母 もうぶつつけ本番です(笑)。
市長 それはすごい(笑)。頼もしい女の子だ。これから楽しみですね。深澤周太郎くんは盆踊りに参加するんだね。ダンスをやっているの？
深澤周太郎 はい。ストーリーダンスです。
市長 毎年高崎まつりでは、もてなし広場で盆踊りをやっ

ていますが、今年は新しく「上州タカサキオンド」ができたんです。これまでの盆踊りとは違う雰囲気だと聞きました。
MAL はい。ダンスのステップを取り入れた、新しい形の盆踊りになりました。振り付けはユーチューブでご覧いただけます。
周太郎 最初踊りを見てびっくりしました。カッコいい。MAL ダンスをやっている子には覚えやすい振り付けです。手の振りだけでもいいんですよ。祭り当日は、多くの人が踊ってほしいですね。
市長 それは楽しみです。高崎はダンスが盛んなまちなので、そのうちに全国大会なども開催できればと思っています。周太郎くんもこうした大会に参加してもらって、高崎を盛り上げてくれたらうれしいですね。

子どもの記憶が 盆踊りを踊る高崎まつり

市長 高崎まつりを盛り上げるためのワッペンをデザインしてくれたのが佐々木菜和さん。もともと絵が好きなの？
佐々木菜和 はい。大好きでよく描いています。
市長 絵が上手に描けるのはうらやましい。花火を描いているんです。高崎まつりは来たことありますか？
菜和 お祭りにはあまり行かなかったことはいませんが、花火は毎年打ち上げ場所の目の前の河原で見えています。
市長 高崎の花火は50分だけ1万5千発を打ち上げます。短時間にこれだけ上げる花火大会はそうありませんよ。
菜和 すごく迫力です。
市長 佐々木さんは以前から高崎にお住まいですか？
菜和 母 子どもが小さいときに市外から越してきました。今年はまだなにも足を運んで、子どもと一緒にお祭りを楽しみたいですね。
市長 高崎まつりにはぎやかです。多くの子どもたちに参加してほしいです。大人が考えている以上に子どもたちの記憶に残り、それがふるさとを思う気持ちにもつながっていくんじゃないかと思うんです。昔の人たちが作った伝統とか文化とかを大事にしていきたいと思います。皆頑張ってください。今日はありがとうございました。一同 ありがとうございます